



ALBA 新聞~希望の夜明け~

No.64 2025/09

アルバ新聞はアルバの利用者が作成しています。



9月とはいえ、まだまだ暑い日が続きます。水分補給などの対策で、まだまだ熱中症にはお気を付けください。

(K・N)



アルバで好きなプログラムアンケート (O・M)

アルバ利用者の皆さんに、好きなプログラムとその理由をアンケート形式で聞きましたのでご紹介したいと思います。

イタリアンパセリ
うますぎ。

サツマイモ
食べたい。

しょこら農園

(ライフスキルのプログラムで、しょこら内にある畑で作物を育てています。)



プログラム開始時のワークで2人一組になって「最近あった良かったこと」「うれしかった事」を伝え合ったり、プログラム内で他の利用者さんのリフレーミングの仕方を知れて何にでもネガティブに捉えがちな私にはとても必要なプログラムだと思っています。

リフレーミング

(ハタラクスキルの一環として思考のクセや偏りを見直すプログラムです。)



就労移行支援事業所に通うきっかけが体験実習の時の調理実習だったから。

タダでご飯が
食べられる。

調理実習がある日はお昼ご飯を持ってこなくていい(時があるから)

利用者主体で商品のアイデア出しから材料選び、制作、販売方法の検討など仕事の流れを体験することができた。

調理実習

(ライフスキルのプログラムで月に1度アルバ内で料理を作って食べています。)



あまり頭を働かせなくてもできるのがいいと思った。

考え事も集中して取り組んでいると忘れられる。

仕事のキホン

(利用者同士の共同作業を通じて仕事の流れを理解するプログラムです。)



ハンドワーク

(指先を使った軽作業)



9月29日は「くる（9）ふ（2）く（9）」（来る福）の

語呂合わせで招き猫の日

(Y・S)

今回は、日本遺産に認定されている常滑焼や招き猫の生産日本一・マスコットキャラクター「トコタン」でお馴染みの愛知県常滑市を、“とこなめ観光ナビ”を元に GoogleMap でバーチャル観光しました！

まずは名鉄「常滑駅」から南東へ行くと「とこなめ招き猫通り」があり、歩道のコンクリート壁に様々な形をした39体の招き猫が埋め込まれています。

とこなめ招き猫通りに

埋め込まれた招き猫たち→

その途中、見上げると壁の上に見守り猫「とこにゃん」が見えてきました。

サイズは高さ 3,8m、幅 6,3m。

「人(客)を招く」意味があり、お出迎えしてくれているようです。

常滑駅から南にあるボートレース場内には億万両の小判を抱えた巨大な招き猫が！高さは6m、重さは10トン超え！

お客さんの当たりを願ってくれているのでしょうか？・・・そう思いたいですね。

ボートレース場内にある

億万両の小判を抱えた巨大招き猫→

そこから西に行くとイオンモール常滑正門から入ってすぐ正面に常滑小判を抱えた世界最大級の高さ 6m50 cmの招き猫「おたふく」。

多くの福を招いてくれるようにと「お多福」の意味を込めて名付けられたようです。

南門側には良縁小判を抱えた金色の縁結び招き猫「おむすび」。招き猫「おたふく」→

そこから南に行くと、

まるは食堂りんくう常滑店名物・巨大エビフライを持った「とこにゃん」が屋上から街を見渡していました。

縁結び招き猫「おむすび」→

外を歩くのも大変な季節、バーチャル観光で全国を回って自分の世界を広げてみましょう！

巨大エビフライを持った

「とこにゃん」↓

各 SNS でプログラムの様子を見ることができます。

是非チェックしてみてください。

9月号もお楽しみに！

LINE



Instagram



ALBA_REACHFOR



X 旧 Twitter



note (ブログ)



facebook



著作権・常滑市

